

Cisco Services Ready Engine

コンパクト、多用途、高性能ルータ ブレード

Cisco® Services Ready Engine (SRE)モジュールは、シスコ、サードパーティ、およびカスタムアプリケーションをホストする機能を提供する、シスコの第 2 世代サービス統合型ルータ向けのルータ ブレードです。モジュールは、ホストルータ のリソースから独立して運用する、独自のプロセッサ、ストレージ、ネットワーク インターフェイスおよびメモリを備え、ブランチ オフィスにおいて物理的スペースおよび消費電力を節約し、IT 管理を簡素化しながら、最大同時ルーティングとアプリケーション パフォーマンス支援を行います。モジュールには、いつでもリモートによってアプリケーションをプロビジョニングできます。このソリューションは、新しいブランチ オフィスの短期間かつオンデマンドでのアプリケーションの展開、ブランチ オフィス インフラストラクチャの運用コストの低減、またブランチ オフィスへの投資の保護を支援します。

Cisco SRE は、ネットワーキング、コラボレーション、コンピューティングおよびストレージ サービスと、中央集中型の管理方法を組み合わせて 1 つにまとめた次世代ブランチ オフィス ホスティングインフラストラクチャであり、ブランチ オフィスのコストの削減と運用効率の向上を実現する設計になっています。データセンターからのアプリケーションの配信とオンデマンドのブランチ オフィス アプリケーションの展開のためのブランチ オフィス インフラストラクチャを最適化するために必要なすべての要素を統合し、それらの要素を単一のシャーシ、シスコの第 2 世代サービス統合型ルータに一体化しています。

図 1 に Cisco SRE Internal Service Module (ISM)と Cisco SRE Service Module (SM)を示し、表 1 にモジュールの機能と利点をまとめます。

図 1 Cisco SRE Internal Service Module と Cisco SRE Service Module

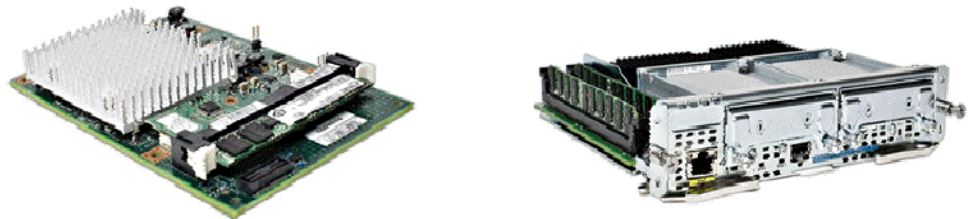


表 1 Cisco Services Ready Engine の機能と利点

主な機能	主な利点
<ul style="list-style-type: none"> シスコ、サードパーティおよびカスタム アプリケーションをホスティング 小型、省エネルギー、軽減された炭酸ガス排出量 高性能、高容量ハードウェア オンデマンドかつリモートによるアプリケーション プロビジョニング 中央集中管理およびトラブルシューティング 	<ul style="list-style-type: none"> ブランチ オフィスの最適化と統合 省エネルギーと環境保護 高いパフォーマンスを要求するアプリケーションの導入 ブランチ オフィス インフラストラクチャの多用途性の向上 管理の簡素化とコスト削減

ブランチ オフィスの統合

現在の企業は IT システムのコスト削減と複雑性を解消するために、サーバの集中化とブランチ オフィス インフラストラクチャの統合を目指す傾向にあります。これらのイニシャティブは、しかしながら、利点を求める過程でしばしば新たな問題を生むことがあります。

- **アプリケーション パフォーマンス:** 中央でホストされるビジネスに不可欠なアプリケーションはローカルでホストされるアプリケーションと同等のパフォーマンスとユーザ エクスペリエンスを提供する必要があります。
- **アプリケーションの存続可能性:** ブランチ オフィスのビジネス トランザクションに不可欠なアプリケーションとネットワーク サービスは、WAN がダウンしている間も機能する必要があります。
- **インフラストラクチャの柔軟性:** 統合されたブランチ オフィス インフラストラクチャは、十分な多用途性とリソースを提供し、新しいアプリケーションのオンデマンドな展開に対応する必要があります。
- **中央集中管理:** 管理システムは、すべてのインフラストラクチャ コンポーネントを持ち、複数のブランチ オフィスを自動化し、WAN を通じて透過的に運用することが必要です。

Cisco SRE はこれらの問題に対応するために設計されました。ブランチ オフィス アプリケーションの展開と配信に最適なハードウェア、インフラストラクチャおよび管理コンポーネントを提供します。Cisco SRE ホステッド ネットワーク とコラボレーション サービスは、WAN アクセスを最適化し、コミュニケーションの存続可能性を提供することにより、アプリケーションのデータセンターへの集中化をサポートします。Cisco SRE ホステッド コンピューティングおよびストレージ サービスは、ホスティングとブランチ オフィスに必要なビジネスに不可欠なアプリケーションのオンデマンドな展開をサポートします。システム全体は、サードパーティ サーバ管理システムと CiscoWorks LAN Management System (CiscoWorks LMS) によって中央で管理されます。

Cisco SRE モジュールとソフトウェア インフラストラクチャによって、シスコ、サードパーティ、およびカスタム アプリケーションのリモート展開とオンデマンドのホスティングが実現します。Service-Ready 展開モデルを通して、アプリケーション ソフトウェアと Cisco SRE ハードウェアを分離することにより、いつでもモジュールにアプリケーションをリモートからプロビジョニングすることができます。Cisco IOS[®] ソフトウェアで使用可能なブランチ オフィス サービス、高度なネットワークインターフェイスとモジュールの組み合わせなど、これらの豊富な機能(単一のシャーシにすべてを統合し一体化)が、ブランチ オフィス IT インフラストラクチャを最適化するために、シスコの第 2 世代サービス統合型ルータを理想的なオールインワン プラットフォームにしています。

Cisco SRE モジュールとシスコの第 2 世代サービス統合型ルータは、ブランチ オフィス全体の機能を単一のボックスに統合し、ブランチ オフィスのサーバとアプライアンスの必要性を完全に解消する、現在の市場では唯一のデバイスです。

Cisco SRE の利点

あらゆる規模の企業のニーズを満たすように設計された Cisco SRE は、以下のセクションで説明する 5 つの主な領域で優れています。

シスコ、サードパーティおよびカスタム アプリケーションをホスティング

Cisco SRE アプリケーションのホスティング機能により、ブランチ オフィス インフラストラクチャをシングル ボックスに統合することが可能になりました。表 2 に Cisco SRE でサポートされているブランチ オフィス アプリケーションを示します。表 2 のサードパーティ アプリケーションは Cisco AXP でホスティングされます。出荷開始日については Cisco SRE 製品速報を参照してください。ベンダー各社が Cisco AXP アプリケーションのリストに加わると、それらの製品は Cisco SRE モジュールに自動的にサポートされるようになります。

表 2 Cisco SRE モジュールでサポートされるアプリケーション(出荷開始日は、アプリケーションごとに異なりますので、Cisco SRE 製品速報を参照してください)

カテゴリ	アプリケーション	利点
ネットワーク サービス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Wireless LAN Controller(WLC) • Infoblox Core Network Services • Cisco Network Analysis Module(NAM) 	可視性と管理により、ブランチ オフィス アプリケーションの効率性を向上させます。
アプリケーション サービス	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Wide Area Application Services (WAAS) • Cisco Application Extension Platform (AXP) • Integrated Storage System (ISS、日本での販売時期未定) 	ブランチ オフィス ソリューションの全体的なパフォーマンスと信頼性を向上させ、サーバの集中化を実現します。
ユニファイド コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Express モジュール (ボイスメールと自動音声応答 [IVR]) • Nice Voice Recording • Sagem-Interstar FoIP (日本での対応時期未定) • Singlewire Paging over IP (日本での対応時期未定) 	アプリケーションとインフラストラクチャの統合により、コミュニケーションとコラボレーションの効率を向上させます。
物理的セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Video Surveillance (日本での販売時期未定) 	物理的セキュリティ、資産保護を高め、法令順守を促進します。
業界アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> • Tiani Medical Data Exchange Solution (日本での対応時期未定) • Orion Rhapsody (日本での対応時期未定) • Global Protocols Skipware (日本での対応時期未定) 	さまざまなビジネス ニーズに対応するために特定のソリューションを提供するアプリケーションを利用します。

小型、軽減された炭酸ガス排出量

Cisco SRE には、2 つの使いやすいフォーム ファクタがあります(表 3)。ルータ内部に装着する小型の Cisco SRE Internal Service Module と、ルータの外部スロットに装着する高性能の Cisco SRE Service Module です。表 4 に示すように、ルータ モデルでのサポート方法によって 2 つのフォーム ファクタから選べます。シスコの第 2 世代サービス統合型ルータのホスティング機能により、さまざまなブランチ オフィス アプリケーションに対応する強力な単一ボックスのデバイスになるのです。このソリューションには以下のような機能があります。

- ブランチ サーバやアプリケーションと異なり、Cisco SRE モジュールは追加の物理的スペースが不要です。
- シスコの第 2 世代サービス統合型ルータに統合することで、ケーブル、スイッチ ポート、電源コード、およびネットワーク インターフェイス カード(NIC)が不要です。
- Cisco SRE モジュールはエネルギー効率に優れ、ブランチ オフィス サーバおよびアプリケーションが必要とする電力のごくわずかし消費しません。
- リモートで電源をオン/オフすることにより、モジュールがアプリケーションにプロビジョニングされていない時の電力を節約でき、また電源を切っておく時間帯を設定できます。

コンパクトに一体化することにより、シスコの第 2 世代サービス統合型ルータは、電力、冷却、ケーブル、およびラック スペースの面でコスト削減を実現しており、炭酸ガス排出量の削減と天然資源の浪費の低減にもつながっています。

表 3 Cisco SRE モジュールの種類



モジュール	仕様
<p>Cisco SRE Service Module (SM)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco SRE Service Module は、Cisco 2911、2921、2951、3925、および 3945 第 2 世代サービス統合型ルータでサポートされています。 • シスコの第 2 世代サービス統合型ルータの種類により、1 つのシャーシに 1 つから 4 つの SM を導入できます。 • Cisco SRE SM は、以前のネットワーク モジュール (NM) と拡張ネットワーク モジュール (NME) に代わるものです。しかし、既存の NM および NME モジュールは、新しい SM スロットにキャリア カードを装着することにより、シスコの第 2 世代サービス統合型ルータにサポートされます。
<p>Cisco SRE Internal Services Module (ISM)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco ISM は、Cisco 1941、2901、2911、2921、2951、3925、および 3945 第 2 世代サービス統合型ルータでサポートされています。 • 1 つのシャーシに 1 つの ISM を導入することができます。 • Cisco SRE ISM は、以前の Advanced Integration Module (AIM) に代わるものです。既存の AIM モジュールは新しい ISM スロットではサポートされません。

表 4 シスコ サービス統合型ルータの Cisco SRE モジュール サポート

モデル	最大 Cisco SRE モジュール	Cisco SRE 300 ISM	Cisco SRE 700 / 900 SM
Cisco 1941	1	1	
Cisco 2901	1	1	
Cisco 2911	2	1	1
Cisco 2921	2	1	1
Cisco 2951	3	1	2
Cisco 3925	3	1	2
Cisco 3945	5	1	4

高性能、高容量ハードウェア

Cisco SRE モジュールは、通常のブランチ オフィス サーバまたはアプリケーションと同等のコンピューティング パフォーマンスとストレージ容量を提供します。多様な Cisco SRE モジュールは、さまざまなパフォーマンス要件を持つアプリケーションにさまざまなプロセッサ、ストレージ、およびメモリ オプションを提供します。ハードウェア仕様を表 6 に示します(本文書の後半部)。主な機能を次に示します。

- x86 64 ビット シングルまたはマルチコア プロセッサのオプション
- 最大 1 テラバイトのハードディスク ストレージ容量
- Cisco SRE 900 SM に RAID 0、RAID 1、およびホットスワップ対応ディスク
- Cisco SRE 700 SM および Cisco SRE 900 SM に現場交換可能なディスク
- ハードウェア アシストの仮想化および組み込み暗号化チップ

Cisco SRE のすべてのハードウェアは、ホスト ルータ リソースから独立しており、最大限の同時ルーティングとアプリケーション パフォーマンスを支援します。モジュールは内部ギガビット イーサネット リンク経由でルータに接続されます。高性能のハードウェアにより、CPU とディスク消費アプリケーションを Cisco SRE モジュールでホスティングすることが可能です。組み込み暗号化チップが、共通標準の暗号化アルゴリズムをサポートし、セキュリティ アプリケーションのために追加のアクセラレーションを提供します。

オンデマンド アプリケーション プロビジョニング

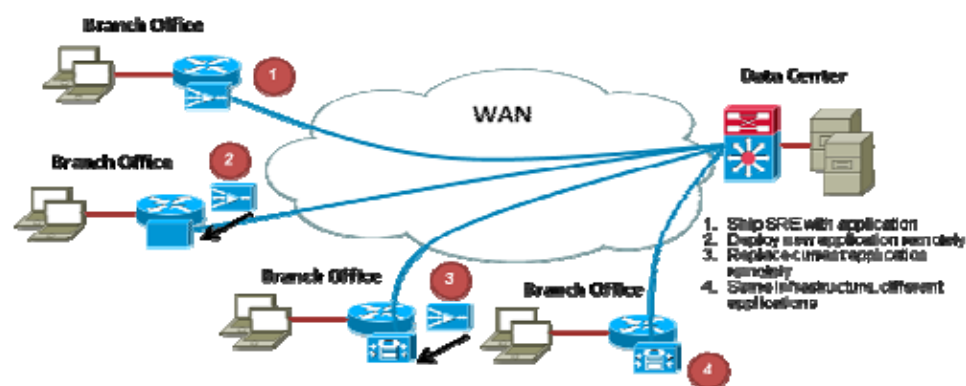
使い慣れたシスコ デバイスとネットワーク管理ツールを使用して、Cisco SRE ホスティング インフラストラクチャ でアプリケーションのインストール、アンインストール、または置き換えが簡単に行えます。管理ツールを使用して、1 つまたはグループの Cisco SRE 上で 稼動しているアプリケーションを異なる種類や関連性のない種類のアプリケーションと置き換えることができます。さらに、ネットワークを導入する際に、ブランチ オフィスに アプリケーション無しのCisco SRE を展開し、後日、サポートされているアプリケーションを迅速にプロビジョニングすることができます。そして、一貫したハードウェア設置スペースを別のブランチ オフィスの別のアプリケーションのホスティングに使用できます。図 2 に Cisco SRE のさまざまなプロビジョニング オプションを示します。

- ネットワーク展開時に、Cisco SRE モジュールにブランチ オフィス アプリケーションをインストールする。
- 後で、Cisco SRE にブランチ オフィス アプリケーションをインストールする。
- ハードウェアを変更せずに、ブランチ オフィス アプリケーションを別のアプリケーションと置き換える。
- 1 つのインフラストラクチャを使用して、別のブランチ オフィスのさまざまなアプリケーションを運用する。

Cisco SRE モジュールのオンデマンド プロビジョニング 機能により、以下のようなビジネス上の利点があります。

- **総所有コストの低減 (TCO)** : Cisco SRE モジュールは将来の現場展開コストを削減します。CiscoWorks LAN Management System (LMS) または Cisco Configuration Professional アプリケーションを使用して、ブランチ オフィスにハードウェアまたはワイヤリングを変更しないで新しいアプリケーションをリモートでプロビジョニングできます。
- **向上した運用効率性** : Cisco SRE モジュールは、新しいアプリケーション展開の市場投入時間を短縮します。Cisco SRE モジュールで構成済みのブランチ オフィスにアプリケーションをプロビジョニングすることにより、新しいビジネスに迅速に対応できます。
- **インフラストラクチャの将来への対応** : Cisco SRE モジュールは変化するビジネス要件に対応する柔軟性を提供します。Cisco SRE モジュールは、あるアプリケーションを別の、より関連のあるアプリケーションと置き換えることが可能です。

図 2 同じ Cisco SRE インフラストラクチャを別のアプリケーションで使用する



中央集中管理およびトラブルシューティング

Cisco Configuration Professional、コマンドライン インターフェイス (CLI)、および CiscoWorks LMS で Cisco SRE にホスティングされたアプリケーションのプロビジョニングと管理を行うことができます。これらの使い慣れたネットワーク管理 (表 5) ツールは単一デバイス管理と マルチデバイス

管理の両方を提供します。さらに、Cisco SRE モジュールは、ハードウェアの健全性またはトラブルシューティングを監視するためのオンボード ハードウェア診断ツールを備えています。Cisco SRE モジュールの中央集中管理では、以下の機能が提供されます。

- 自動検出機能によって、展開したモジュールおよびアプリケーションの種類、容量およびプロパティが報告されます
- 中央集中型モニタリング機能により、展開したモジュールの健全性およびステータスが報告されます。
- 中央集中型プロビジョニングにより、リモートでのアプリケーションのインストール、アップグレードおよびアンインストールが可能です

ネットワーク管理アプリケーションは、運用コスト(OpEx)の低減に重要であり、ブランチ オフィスネットワークの管理に関連する日々の多くのタスクを簡素化し、自動化することでネットワーク可用性を向上させています。

表 5 Cisco SRE がサポートするネットワーク管理アプリケーション

アプリケーション	説明	バージョン
CiscoWorks LMS	CiscoWorks LMS は、Cisco エンドツーエンドネットワーク の日常的な管理を簡素化する統合ネットワーク スイートであり、ネットワーク可用性を高め、運用コストを低減します。CiscoWorks LMS は、ネットワークの設定、管理、モニタリング、およびトラブルシューティングのため、また新しいサービスの設定の時間を節約し、ネットワークの問題を排除して迅速に解決するのに必要な時間を低減する使いやすい Web ベースのインターフェイスをネットワーク管理者に提供します。	3.2
Cisco Configuration Professional	<p>シスコ アクセス ルータ用の GUI ベースのデバイス管理ツールは、使いやすいウィザードを使用してルーティング、ファイアウォール、侵入防御システム (IPS)、VPN、ユニファイド コミュニケーション、および WAN と LAN の設定を簡素化します。</p> <p>Cisco Configuration Professional は、ネットワーク管理者とチャネル パートナーが自信をもって、より簡単にルータを導入できる、生産性向上のために有益なツールです。ワンクリックでルータをロックすることができ、音声による新しいセキュリティ監査機能ではルータの設定の確認と変更の推奨を行います。また、アプリケーションはルータのステータスを監視し、WAN と VPN の接続の問題のトラブルシューティングを行います。</p> <p>Cisco Configuration Professional は無料です。 http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/routers/ccp/index.html からダウンロードできます。</p>	2.0

製品仕様

表 6 にすべての Cisco SRE モジュール モデルの詳細な仕様を示します。

表 6 Cisco SRE モジュール製品仕様

機能	Cisco SRE 300 ISM	Cisco SRE 700 SM	Cisco SRE 900 SM
製品 SKU	ISM-SRE-300-K9	SM-SRE-700-K9	SM-SRE-900-K9
フォーム ファクタ	ISM	SM	SM
CPU	Genuine Intel® プロセッサ 1.06 GHz	Intel® Core™ 2 1.86 GHz	Intel® Core™ 2 デュオ 1.86 GHz
DRAM	512 MB	2 GB	4 GB
コンパクト フラッシュ メモリ	4 GB 内部 USB フラッシュ メモリ モジュール	2 GB 内部 USB フラッシュ メモリ モジュール	2 GB 内部 USB フラッシュ メモリ モジュール
ハードディスク	なし	1 x 500 GB	2 x 500 GB (非 RAID モードでは 1 TB)
ホットスワップ対応 HDD	なし	なし	あり
Redundant Array of Independent Disk (RAID) サポート	なし	なし	RAID 0、1
内部ネットワーク インターフェイス	ルータ バックプレーンへのギガビット イーサネット 接続	ルータ バックプレーンへのギガビット イーサネット 接続	ルータ バックプレーンへのギガビット イーサネット 接続
外部ネットワーク インターフェイス	なし	1 USB コネクタ 1 RJ-45 ギガビット イーサネット コネクタ	1 USB コネクタ 1 RJ-45 ギガビット イーサネット コネクタ
ルータ プラットフォーム	1941、2901、2911、2921、2951、3925、3945	2911、2921、2951、3925、3945	2911、2921、2951、3925、3945
Cisco IOS® ソフトウェア (ルータ上)	IOS リリース 15.0(1)M	IOS リリース 15.0(1)M	IOS リリース 15.0(1)M
組み込みハードウェアベースの暗号化アクセラレーション	なし	なし	あり
サポートされているアプリケーション			

<p>アプリケーション（アプリケーションの対応時期は、アプリケーションにより異なります。対応時期については、弊社営業までご確認ください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Express (CUE) • Cisco Application Extension Platform (AXP) • Cisco Wireless LAN Controller(WLC) • Infoblox Core Network Services • Cisco Network Analysis Module (NAM) • Global Protocols Skipware（日本での対応時期未定） • Nice Voice Recording • Sagem-Interstar FoIP（日本での対応時期未定） 	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Express (CUE) • Cisco Application Extension Platform (AXP) • Cisco Wireless LAN Controller(WLC) • Cisco Wide Area Application Services (WAAS) • Cisco Video Surveillance（日本での販売時期未定） • Infoblox Core Network Services • Cisco Network Analysis Module (NAM) • Global Protocols Skipware（日本での対応時期未定） • Nice Voice Recording • Sagem-Interstar FoIP（日本での対応時期未定） • Tiani Medical Data Exchange Solution（日本での対応時期未定） • Orion Rhapsody Connect（日本での対応時期未定） 	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Application Extension Platform (AXP) • Cisco Wide Area Application Services (WAAS) • Cisco Video Surveillance（日本での販売時期未定） • Integrated Storage System (ISS)（日本での販売時期未定） • Infoblox Core Network Services • Cisco Network Analysis Module (NAM) • Global Protocols Skipware（日本での対応時期未定） • Nice Voice Recording • Sagem-Interstar FoIP（日本での対応時期未定） • Tiani Medical Data Exchange Solution（日本での対応時期未定） • Orion Rhapsody Connect（日本での対応時期未定）
電力仕様			
電力消費(最大)	20W	50W	50W
物理仕様			
寸法(高さ×幅×奥行)	2.2 x 10.2 x 15.5 cm (0.85 x 4 x 6.1 インチ)	4 x 18.9 x 19.1 cm (1.58 x 7.44 x 7.5 インチ)	4 x 18.9 x 19.1 cm (1.58 x 7.44 x 7.5 インチ)
出荷寸法(梱包材込みの高さ×幅×奥行)	24 x 18.4 x 6.05 cm (9.45 x 7.18 x 2.38 インチ)	24.1 x 19.1 x 6.4 cm (9.5 x 7.5 x 2.5 インチ)	24.1 x 19.1 x 6.4 cm (9.5 x 7.5 x 2.5 インチ)
最大重量	0.206 kg(0.5 ポンド)	1.1 kg(2.5 ポンド)	1.1 kg(2.5 ポンド)
環境仕様			
動作条件			
動作温度	導入可能なプラットフォームの動作要件	0 ~ 40°C(32 ~ 104°F) 通常 -5 ~ +55°C(23 ~ 131°F) 短期間	0 ~ 40°C(32 ~ 104°F) 通常 -5 ~ +55°C(23 ~ 131°F) 短期間
湿度	導入可能なプラットフォームの動作要件	10 ~ 85%(動作時)	10 ~ 85%(動作時)
高度(動作時)	導入可能なプラットフォームの動作要件	ゼロメートルで40°C(104°F) 1,800 m(6,000 フィート)で40°C(104°F) 4,000 m(13,000 フィート)で30°C(86°F) 4,600 m(15,000 フィート)で27.2°C(81°F) 注:2,600 m 以上では300 m(6,000 フィート)以上では1,000 フィート)ごとに1.4°C(34.5°F)	
輸送/保管条件			
温度	-25 ~ +70°C(-13 ~ 158°F)	-20 ~ +65°C(-4 ~ 149°F)	-20 ~ +65°C(-4 ~ 149°F)
相対湿度	5 ~ 95%	5 ~ 95%	5 ~ 95%
高度	4,570 m(15,000 フィート)	4,570 m(15,000 フィート)	4,570 m(15,000 フィート)

適合規格		
安全性	導入可能なプラットフォームの安全性要件	<ul style="list-style-type: none"> • UL 60950-1, First Edition, Standard for safety for information technology equipment (米国) • CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-03, Safety of information technology equipment including electrical business equipment (カナダ) • IEC 60950-1:2001, Safety of information technology equipment / Second Edition -2005 (全世界) - 2nd Edition 2005 (オプション, 2010年12月1日までに認定) • EN 60950-1:2001, Safety of information technology equipment (ヨーロッパ電機標準化委員会, EU および EFTA を含む) • GB4943-2001, Safety of information technology equipment (中国) • AS/NZS 60950-1, Safety of information technology equipment including electrical business equipment (オーストラリア) • NOM-019, Safety of data processing equipment (メキシコ)
EMC	AS/NZS 3548 : 1995 incorporating Amendments 1 and 2; Class A (オーストラリア) CISPR 22 : 1997; Class A (国際仕様) Code of Federal Regulations, Title 47, Part 15, Sub-part B: 2000; Class A (米国 - FCC) CNS-13438 (台湾) EN55022: 1998, EN61000-3-2: 1995, EN61000-3-3: 1995, EN55024: 1998, EN50082-1: 1997 (欧州連合および東ブロック) EN300386: 2000; Class A (欧州連合 - 認定電気通信ネットワーク機器オペレータ) ICES-003 Issue 3, 1998 (カナダ) VCCI V-3/ 00.04 (日本)	エミッション: <ul style="list-style-type: none"> • 47 CFR Part 15 Class A • CISPR22 Class A • EN300386 Class A • EN55022 Class A • EN61000-3-2 • EN61000-3-3 • SD/EMI (インド) • KN22 (韓国) • VCCI Class I • AS/NZS CISPR 22 Class A イミュニティ: <ul style="list-style-type: none"> • CISPR24 • EN300386 • EN50082-1 • EN55024 • SD/EMI (インド) • KN22 (韓国) • EN61000-6-1

発注情報

Cisco SRE モジュールの発注方法の詳細については、『[SRE モジュール発注ガイド](#)』をご覧ください。シスコ製品のご購入については、『[購入案内](#)』および表 7 と表 8 を参照してください。Cisco SRE バンドル を含むその他の製品番号については、シスコ代理店にお問い合わせください。

ソフトウェアをダウンロードするには [Cisco Software Center](#) にアクセスしてください。

表 7 Cisco SRE 発注情報

製品番号	製品の説明
ISM-SRE-300-K9	512 MB DRAM、4 GB フラッシュストレージ
SM-SRE-700-K9	2GB DRAM、512 MB フラッシュストレージ、500 GB ハードディスク(現場交換可能)
SM-SRE-900-K9	4 GB DRAM、2 GB フラッシュストレージ、2 x 500 GB ハードディスク (1 TB ストレージ)、組み込み暗号化チップ、RAID 0/1 サポート、ホットスワップ対応ハードディスク
SM-DSK-SATA-500GB=	SM-SRE-900-K9 用 500GB スペアハードディスク
SM-MEM-DDR2-2GB=	SRE 700 SM 用 2 GB メモリ アップグレード

表 8 Cisco SRE および Cisco ISR G2 バンドル

注文 SKU	説明
C1941-SEC-SRE/K9	Cisco 1941 SRE バンドル、SRE 300、SEC ライセンス PAK
C2901-VSEC-SRE/K9	Cisco 2901 SRE バンドル、SRE 300、PVDM3-16、UC および SEC ライセンス PAK
C2911-VSEC-SRE/K9	Cisco 2911 SRE バンドル、SRE 300、PVDM3-16、UC および SEC ライセンス PAK
C2921-VSEC-SRE/K9	Cisco 2921 SRE バンドル、SRE 700、PVDM3-32、UC および SEC ライセンス PAK
C2951-VSEC-SRE/K9	Cisco 2951 SRE バンドル、SRE 700、PVDM3-32、UC および SEC ライセンス PAK
C3925-VSEC-SRE/K9	Cisco 3925 SRE バンドル、SRE 700、PVDM3-64、UC および SEC ライセンス PAK
C3945-VSEC-SRE/K9	Cisco 3945 SRE バンドル、SRE 700、PVDM3-64、UC および SEC ライセンス PAK

保証に関する情報

保証に関する情報は、Cisco.com の [製品保証ページ](#) から入手できます。

サービスおよびサポート情報

Cisco SRE ハードウェアのサービスおよびサポートは、モジュールがあるルータの SMARTnet 契約により保証されます。Cisco SRE 製品は、別売りの Cisco Software Application Support plus Upgrades (SASU) と関連付けられますが、それらはルータまたは Cisco SRE モジュール Cisco SMARTnet 契約には含まれません。

関連情報

Cisco SRE モジュールの詳細については、<http://www.cisco.com/go/SRE/> を参照するか、最寄りの代理店にお問い合わせください。

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先